

<b>令和元年度第1回奈良市教育委員会施策評価懇談会の意見の概要</b>	
開催日時	令和元年 7月 9日 (火) 午前10時から午後2時10分まで
開催場所	奈良市役所北棟2階 第16会議室
意見等を求める内容等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 外部評価者から事前の質問意見のないシートについての聞き取り (教育政策課)</li> <li>2 評価シート全体に対する意見聴取</li> <li>3 7月23日 (火) 開催予定の教育委員との懇談会の議題について</li> <li>4 教育委員会事務局各課との面談</li> <li>5 総括</li> </ol>
参加者	<b>【外部評価者】</b> 仲林 真子、橋崎 頼子 <b>【教育政策課及び教育委員会事務局各課】</b> 19名
開催形態	公開 (傍聴人2人)
担当課	教育部 教育政策課
<b>意見等の内容の取り纏め</b>	
<p>評価シート「(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について、教育政策課による外部評価者から事前の質問意見のない評価シート及び評価シート全体に対する意見聴取の後、外部評価者と教育委員会事務局各課で意見交換を行った。</p> <p>《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>外部評価者から事前の質問意見のないシートについての聞き取り (教育政策課)</b>  <b>【評価シー11】</b> について外部評価者から就学援助の支給基準についての確認があり、教育政策課から国の要保護基準に沿って、奈良市で決定した金額を支給していると回答した。</li> <li>2 <b>評価シート全体に対する意見聴取</b>            達成度、必要性、方向性の評価基準について教育政策課より説明を行った。            外部評価者から、「評価基準も5段階評価になり大変分かりやすくなっており、各課横断の客観的な基準もバラつきが少なくなっているように感じている。ただ、特に世間の関心が高い事業については自信を持って「拡充」とし、アピールすることも重要であると思う。」との意見をいただいた。</li> <li>3 <b>7月23日 (火) 開催予定の教育委員との懇談会の議題について</b>            教育委員との懇談テーマについて、以下のとおり外部評価者からテーマ案をいただいた。           <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育委員と教育現場の連携について</li> </ol> </li> </ol>	

・子どもの安全安心について（虐待、不登校・引きこもり等）

## 2 教育現場での対応について

・児童・生徒の多様性への対応について（外国人、LGBTQ 等）

・AI などへの関心が高まる中での対応について

教育政策課は、これらのテーマ案について教育委員と調整の上、2 つ程度に絞ると回答した。

## 4 各課面談

外部評価者から評価シートに対して事前に質問・意見があった対象課に聞き取りを行った。全課に共通する指摘事項として、昨年度と比較して必要性が変動している事業について、変動したことが文面から読み取れないシートが見受けられる。そのため、実施状況欄の成果内容の記述と評価基準を統一することの指摘があった。全課対応するよう回答した。

## 5 総括

外部評価者から、「報告書としてまとめる段階で各課の評価が厳しい課もあれば、そこまで厳しい評価ではない課もあり、そこを一定の基準化をして統一することが重要ではないかと感じた。その上で評価が画一的にならないようにすることが必要である。」との意見をいただき、事務局は、担当課と調整を行いながら、評価の統一性について再度確認・修正を行い、最終確認いただくことになった。